

※度会郡の4町（玉城町・度会町・南伊勢町・大紀町）と多気郡大台町の5町が連携し、三重県子どもNPOサポートセンターに委託してファミリーサポート事業を実施しています。

会員の声

☆度会町依頼会員

私がファミリーサポートセンターの事を知ったのは数年前、次男の健康診断で役場に行った時でした。1人の女性の方が「ファミリーサポートっていうのがあるんやけどどうですか？」と声をかけてくださいました。多分利用する事は無いだろうな...と思いながら、説明だけ聞いてパンフレットをもらって帰ってきました。そして家に帰り、そのままパンフレットを引き出しの中にしまいました。

私の会社は土日が休みです。しかし年に数回土曜日出勤があります。そんな時は長女が児童館でお世話になっており、今まではちょうど祖父の休みと合ったので児童館まで送ってもらっていました。しかし昨年12月の土曜日出勤の日は祖父も仕事で8:30から始まる児童館に私が送って行くとすると会社が遅刻になってしまいます。どうしようかと困っていた所、ファミリーサポートセンターがある！という事を思い出しました。急いでパンフレットを探し出し、気づいた時には手に携帯電話を持ち、依頼会員になりたい旨の電話をしていました。

依頼当日、先に顔合わせをしていただいていたものの長女も最初は、大丈夫かなあと不安そうにしていました。でも朝提供会員さんの家に行った時には笑顔で快く迎えていただき、不安が吹っ飛んだ様子でした。そしてその日の夜も「(提供会員さんの所で)ラキューで遊んだよ！」と嬉しそうに話してくれました。私も会社に遅刻する事なく長女を児童館に送っていただいたので本当に助かりました。

もし同じ様な悩みを抱えている友達や近所の方がいたら教えてあげ、ファミサポの輪を広げたいと思いました。

(N・H)

☆大台町依頼会員

去年の4月から妻に代わって、育児休暇をとり、娘と10ヶ月間過ごしました。二度とない貴重な経験だと思い、行動を起こしたのですが、現実には厳しいものでした。

慣れない育児と家事の両立は思い通りに行かないことの連続で、体重が10kg減ってしまいました。2才から3才の成長期では、娘の行動に波がありました。ようやく落ち着いたと思ったら、ぐずり出す。できるようになったと思ったら、しなくなるなどの繰り返しでした。自分は振り回され、精神的にも肉体的にも疲れ切っていました。

そんな中「2人にならないようにした方がいい」と妻から言われた事を思い出しました。2人きりの時間が多く、余裕がなくなっていると感じ、2人の時間を減らすようにしました。例えば、祖父母に娘をあずかってもらったり、いっしょに遊んでもらったりしました。その間に家事をすることができ、負担が減りました。子育て支援センターや公民館に行くと、地域のお母さん方やサポーターさんに育児について相談することができました。公園ではお母さんと話をするだけでも気が楽になりました。娘もいろいろな人にふれあうことができ、家とは違う場所に慣れることができます。自分にとっても誰かと話しができるというだけでストレスが大きく減るのを感じました。



また、妻が仕事から早く帰ってきてくれるときはほっとしました。早く帰ってくるとわかるだけで、娘に対して余裕を持って接することができました。1日休みをもらったあとは、次の日リフレッシュして育児をすることができました。

育児に参加するお父さんは確実に増えてきていると思います。公園ではお父さんが子どもと遊ぶ姿、スーパーマーケットでは家族で買い物をする様子がよく見られるようになりました。しかし、支援センターなどでの行事や活動では、お父さんはあまりいません。同じ立場のお父さんがいたら、もっと気軽に相談することができて、もっと気持ちが楽になったと思います。男性が多ければ、さらに男性が参加しやすくなると思います。

これから娘は保育園に通い、自分も仕事に復帰します。また環境が大きく変わり、それに対応していかなければなりません。このファミリーサポート支援をはじめ、さまざま支援団体に協力してもらい、育児を続けていきたいと思っています。

(油田圭司)



❖玉城町依頼会員

私は、保育所の開所時間に出勤時間が間に合わず、職場復帰に悩んでいた時、早朝からサポートをしていただける事を知りお願いしました。

息子が1歳9カ月の頃から、朝の保育所への送迎を月に何度かお願いしていますが、やはり最初は毎回大泣きする息子を提供会員さんのお宅に預け私自身つらい時もありましたが、今では、提供会員さんのお宅に着くと息子も自分から走って行きお互い笑顔でバイバイして見送ってくれます。

そして、1時間の依頼時間にもかかわらず、絵本の読み聞かせをしていただいたり、紙芝居、コマなどいつも楽しい時間を過ごしているようです。

保育所の連絡簿からも「朝、提供会員さんと手をつないで仲良くおしゃべりしながら登所してました」といった様子を聞き安心し、とても感謝しています。

また急なサポートの依頼や変更にも対応していただき、ほんと有り難いです。

これからもお願いする機会が多いと思いますが、よろしくお願いします。

(Y・H)



❖南伊勢町提供会員

5年前に提供会員として登録したのは「いせファミリー・サポート・センター」でした。

きっかけは自分の子どものためと思い、養成講座を受けました。

養成講座でいろいろな事を勉強していくうちに、楽しくなってきたので、出来たらこの勉強したことを活かして、少しでも子育てのサポートにと言う思いがありました。

会員になっても南伊勢町では依頼会員もなく、サポートはありませんでした。

そして4年前に南伊勢町が玉城町・度会町・大紀町・大台町と連携して、ファミリー・サポート・センター事業が立ち上がり、提供会員として登録しました。

しかし南伊勢町は条件が整わず、依頼は一度もなく活動はできていません。

南伊勢町は子どもも少なくなっているのですが、一人でも多く依頼会員が増えて、子育ての相談やサポートができればいいと思います。

(山下恵子)

✿南伊勢町依頼会員

9月の始めに10月から急に働くことが決まり、1歳半の息子を保育所に入れる手続きをすぐにしました。でも日曜・祝日も仕事のため、どうしよう困っているときにファミリーサポートセンターのことを聞き、すぐに登録してもらいました。事前に子どもと一緒に面接をして、安心して預けることができ、助かりました。もっと登録者がふえて、みんな利用しやすくなればよいと思います。

(小島)

提供会員養成講座日程

日程	講座項目	講師 (敬称略)	時間
5/30 (土)	開講式・オリエンテーション	担当アドバイザー	9:20~9:30
	提供会員の役割と心得	秋山則子：三重県子どもNPOサポートセンター副理事長	9:30~11:30
	保育の心	堀川美子：育児支援アドバイザー	12:30~14:30
	子どもの遊び	山野栄子：鈴鹿短期大学生活学科・こども学専攻特任准教授	14:45~16:45
5/31 (日)	心の発達/障害について	千草篤彦：高田短期大学子ども学科学科長	9:30~12:30
	身体の発達と病気	花田 基：花田小児科院長	13:30~16:30
	会則・活動記録等の説明	担当アドバイザー	
6/6 (土)	子どもの栄養と食生活	馬場啓子：中部大学現代教育学部幼児教育学科非常勤講師	9:30~12:30
	子どものけがの予防と応急処置	富内直美：日本赤十字社三重県支部看護師	13:30~16:30
6/7 (日)	小児看護の基礎知識	岡田まり：㈱ジェネラス訪問看護ステーションほたるいせ管理者	9:30~12:30
	講座をふりかえって	大紀町担当者	13:30~16:30
	(グループで話し合い)	秋山則子：三重県子どもNPOサポートセンター副理事長	

会場：大紀町コンベンションホール予定 (崎 2200 番地 1)

受講料：無料 (ただしテキスト代 2500 円は必要です)

受講を希望される方は事前にセンターまでお申し込み下さい。

託児：無料 (要申し込み)



大紀町は、平成27年5月に提供会員養成講座の会場になっております。現在大紀町の提供会員は17名の方に登録頂いておりますが、活動実績はほとんどありません。それは、子育てをする上で家族の協力体制や、保育所の充実・仕事の仕方の多様性が認められているからかもしれません。

ただ、5年に1度の地元での開催ですので、子育てしている人たちのスキルアップに利用して頂いたり、子育て支援の充実と今のお母さんを理解し、支援する方を増やすために、養成講座を大いに活用して頂きたいと思います。

子育て家庭にとっては、たとえ利用しなくても、地域の暖かい目があることで、安心して子育てが出来るものです。

どうぞ、皆さんお誘い合わせの上ご参加ください。

(大紀町担当アドバイザー鬼藤千代子)



2月末までの各町の状況

	依頼会員	提供会員	両方会員	計	活動累計
大台町	52	47	8	107	0
玉城町	119	34	6	159	602
南伊勢町	11	13	1	25	3
大紀町	14	17	1	32	0
度会町	32	13	5	50	7
計	228名	124名	21名	373名	612件

こんな内容で利用されています！！

- ・朝に預かり、保育所や学童へ送る
- ・学童への迎えと預かり
- ・病児保育エンゼルへの送り
- ・お母さんの休養、仕事、外出のための一時的な預かり
- ・習い事への送迎

親子で楽しい絵本コーナー



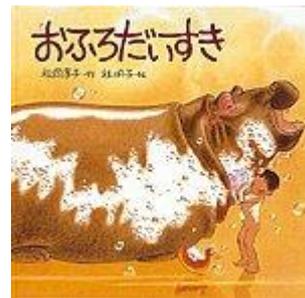
「ぼとんぼとんはなんのおと」

神沢利子：作／平山英三：絵
福音館書店
ふゆごもりの穴の中で何度も何度も繰り返される子ぐまの問いかけにお母さんは優しく答えます。ゆっくり、でも確実に春は近づいてきます。
お母さんぐまの暖かい眼差しをお子さんと共に。



「お風呂だいすき」

松岡享子：作／林明子：絵
福音館書店
さむい冬にあったかいお風呂・・・
「ぼくとあひるのプッカ」がお風呂でたくさんの動物に出会います。
子どものファンタジーの世界を十分楽しめ、30年以上も愛されている絵本です。



みえ子育て支援・緊急サポートネットワーク

❁南勢志摩地域センター（玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町ファミリー・サポート・センター）

TEL&FAX 0596-23-3938

〒516-0037 伊勢市岩渕2丁目3番13号 NPO 法人三重みなみ子どもネットワーク内

❁多気郡地域センター（大台町ファミリー・サポート・センター）

TEL&FAX 0598-20-2938

〒515-0084 松阪市日野町788カリヨンビル1階(特定非営利活動法人 松阪子どもNPOセンター内)